

ポリネシア文化センター

南国の人は底抜けに明るく、大らかな性格を持っているように私はイメージしている。それは気候、風土からくる開放的な人間形成によるものと思われる。日本の社会から比較して、ある意味でうらやましい限りである。

オアフ島ワイキキより北へ1時間余りバスで走った所に、ポリネシア文化センターはあった。2600万平方メートル（東京ドームの3倍）の敷地に広がる、ポリネシア5000年の歴史と文化を再現したテーマパークである。ポリネシア出身の元気いっぱいの若者達が、世界中からの来園者を持て成してくれる。



園内はポリネシアの7つの村（ハワイ、サモア、トンガ、フィジー、タヒチ、マーケサス、ニュージーランド）の文化・芸能に触れる事が出来る。なかでも色鮮やかなコスチュームに身を纏い、各村別にカヌーの上でドラムの音と共に激しくも華麗なダンスショーを披露。トンガのドラム演奏。フラダンスの講習。40フィートもあるヤシの木に軽がると登って見せる。トークショーとココナッツ割りや火起こし。その国の伝統ゲーム。カヌーに乗って見学ツアー……。

南国情緒あふれる建物と草木も見ものだ。色鮮やかな華麗な花々。モアイ像での記念写真。本物のカヌーも展示されている。見るもの全て興味を引き付けられる。圧巻は夜に開演されるポリネシアンショー。2700人収容の劇場で‘ハア’ブレス・オブ・ライフ（子供の誕生から生命の息が永遠に受け継がれていく）迫力満点の演技。感動のストーリーに惜しみない拍手を贈った。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまう。

撮影 2010 年冬

